

# IV 施設設備

1 教育支援総合センター

2 図書館

3 保健センター・学生相談室  
特別サポートルーム

4 地域連携センター

5 教職センター

6 体育管理センター

7 カレッジホール PAL

8 人間福祉学研究科  
臨床心理センター

9 北方圏学術情報センター

10 北方圏生涯スポーツ  
研究センター



## 1. 教育支援総合センター

### 場 所

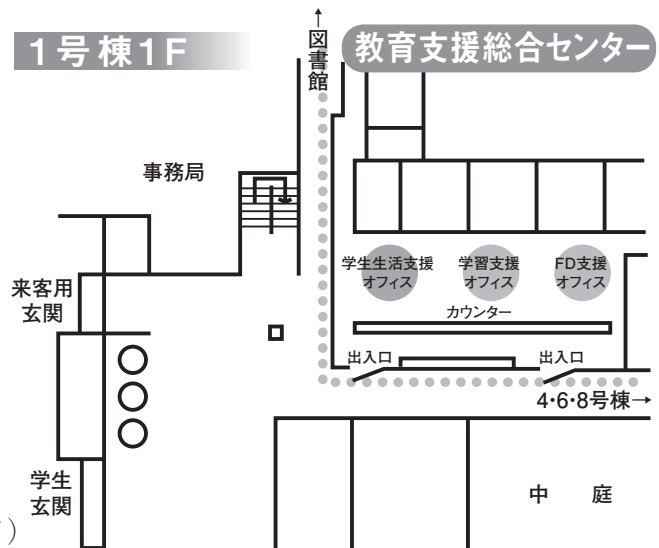
1号棟1階 事務局内

### 受付時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00
- ・土曜日 9：00～13：00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
- ・夏季・冬季休業中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合



### 業務内容

教育支援総合センターは学生のみなさんを学習面や生活面で総合的に支援するための組織で、「学習支援オフィス」、「学生生活支援オフィス」及び「FD支援オフィス」の3つのオフィスを持ち、加えて保健センター、学生相談室、地域連携センター、教職センター及びキャリア支援センター等他の組織と連携して学生サービスを行います。

また、“学習サポート教室”、“何でも相談”及び“交流スペースhug（ハグ）”を運営し、学習面、生活面の両面からみなさんの悩みに対応します。

#### <学習支援オフィス>

履修・単位に関すること、授業に関すること、学籍や卒業に関すること及びこれらに関する証明書の発行等を行う窓口です。詳しくは学生生活編をご覧ください。

#### <学生生活支援オフィス>

奨学金に関すること、課外活動に関すること、忘れ物・落とし物に関すること、学生証や通学証明書に関すること等学生生活全般に関して対応する窓口です。詳しくは学生生活編をご覧ください。

#### <FD支援オフィス>

授業評価の実施や授業開発、教職員向けの研修機会の提供等、学生のみなさんにより良い教育機会を提供できるよう間接的にサポートします。

また、学生視点で授業や教育に関わる“学生FD”に注力しており、学生で構成する学生FDスタッフの支援を行っています。

その他、パソコン教室、学内WiFiなどコンピュータに関する問い合わせ対応も行っています。

### <学習サポート教室>

高校とは大きく異なる授業内容や形態、また、長い文章を記述することの多いレポートやテストなど新入生が感じる「高校と違う!」という悩みを解決するために、相談やアドバイス、指導を行います。詳しくは学習支援オフィスにおたずねください。みなさんの積極的な活用を待っています。

### <何でも相談>

学生生活の全ての疑問や悩みを受け付け、必要に応じて専門の部署を紹介します。「聞きたいことがあるけどどこで聞いたらよいかわからない」「悩みがあるけど誰に相談したらよいかわからない」そんなときは学生生活支援オフィスの“何でも相談”を活用してください。

## 2. 図書館

### 1) 開館時間・休館日

開館時間

		通常	休業中
月～金曜日	開館	9:00～20:00	9:00～16:30
	貸出・視聴覚資料利用受付	9:00～19:00	9:00～16:30
土曜日	開館	9:00～15:00	9:00～12:30
	貸出・視聴覚資料利用受付	9:00～14:00	9:00～12:30

ただし、次の期日は休館とします。

- ・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）及び本学の行事日
- ・夏季・冬季・春季休業中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

### 2) 入館にあたっての注意

- ・受付カウンターは1階にあります。
- ・館内での飲食は禁止です。1階の「ラーニング・コモンズ」では、キャップつきのボトル飲料（ペットボトル、水筒など）に限り持込・摂取できます。
- ・閲覧室内で携帯電話の通話はできません。入館時に電源を切るかマナーモードにしてください。受信先が急を要する場合は、1階中央階段前の「緊急着信通話コーナー」で通話してください。

### 3) フロアガイド

1階から3階までの館内で、自由に資料を利用できます。1階には、芸術・スポーツ分野の一般図書のほか、新着図書、雑誌、新聞及び視聴覚資料があります。また、就職活動に役立つ資料を集めた「就職関連本コーナー」や、教員指定の「テキスト・参考資料・指定図書」を講義科目別にまとめた「科目関連図書コーナー」があります。

2階には、医学・福祉をはじめ広い分野の一般図書、洋書、貴重本、大型本が、3階には、教育・ファッションなどの社会科学、言語・文学分野の一般図書のほか絵本、児童書、紙芝居があり

ます。

グループで資料を利用しながらディスカッションをするときは1階の「ラーニング・コモンズ」または「グループ学習ゾーン」を利用してください。2・3階は「個人学習ゾーン」です。会話は控えてください。

図書館資料を検索するパソコンを各階に備えているほか、1階にインターネット対応のパソコンを備えています。1階「ラーニング・コモンズ」の視聴覚ブースでは、所蔵するCD・DVDなどが利用できます。2階の「生涯学習サポート教室“まなぼっと”」には電子黒板、プロジェクター、タブレットPCを備えています。利用の際はカウンターで申し込んでください。

図書など資料を探し出せないときには司書に相談しましょう。

#### 4) 資料の貸出について

図書館の資料を借りるためには、「資料貸出登録書」の提出が必要です。

借りたい資料と学生証を持参して1階カウンターで手続きをしてください。

##### 貸出期間・冊数

種 類	期 間	冊 数	卒論貸出 <sup>※2</sup>
●一般図書	14日間	計20冊	計50冊
●参考図書（緑ラベル）	7日間		
●指定図書（青ラベル）	7日間		
●禁帯出本（赤ラベル）	オーバーナイト <sup>※1</sup>		
●雑誌（バックナンバー・紀要）	7日間		
●雑誌最新号	オーバーナイト <sup>※1</sup>		
●CD・カセットテープ	7日間		
●ビデオ・DVD・LD	館内閲覧		
●CD-ROM	館内閲覧		

※1 オーバーナイト

●月～金曜日／18：00～翌日9：30 ●土曜日／12：00～翌週月曜日9：30

※2 卒論・ゼミ論などのために特別貸出をしています。くわしくはカウンターにお問い合わせください。

なお、図書や雑誌など資料を紛失・破損した場合は弁償していただきます。

#### 5) 複写

図書館の資料の複写には、図書館にあるコピー機が使用できます。料金はモノクロコピーが1枚10円、カラーコピーが1枚50円（A3版は80円）です。1冊の図書を全部、及び1人で同じものを2部以上複写することは禁じられています（著作権法第31条による）。ノート類や持込資料の複写はできません。

## 3. 保健センター・学生相談室・特別サポートルーム

### 1) 保健センター

保健センターは、健康で充実した学生生活を送ることができるよう、疾病予防や健康の保持・増進を援助することを目的として設定されています。

自分の健康に不安を感じる事があれば、どんなことでも気軽に保健センターを利用してください。

#### 業務内容

- ・ 定期健康診断・臨時健康診断
- ・ 保健管理の企画・実施
- ・ 有所見者の保健指導
- ・ 保健講話の実施
- ・ 健康相談
- ・ 学内の衛生管理
- ・ 応急処置および医療機関の案内
- ・ 健康診断証明書の発行（定期健康診断を受けたものに限る）

#### 利用時間

- ・ 月～金曜日 9：00～17：00（昼休み13：30～14：30）
- ・ 土曜日 9：00～13：00（基本は隔週）

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・ 日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
- ・ 夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・ その他臨時に必要な場合

#### 利用方法

- ・ 利用時間内にいつでも予約なしで利用できます。
- ・ 電話・E-mailでも相談を受け付けます。  
電話：(011) 387-3984（保健センター直通）  
E-mail：center@hokusho-u.ac.jp
- ・ 場所はPAL 3階です。

#### 健康保険証の携帯について

在学中は健康管理上、不測の事態が生じることも考慮し、健康保険証を携帯してください。

親元から離れ一人暮らしを始める場合は、遠隔地健康保険証発行の手続きを早めに行い、携帯するようにしてください。

### 2) 学生相談室

学生相談室では、心理的な悩みや、学業・進路・経済的な悩みなど大学生活に関することをカウンセラー（臨床心理士）が相談に応じています。相談内容は自分自身のことに限らず、家族や友人など周りの人に関することでも構いません。どんな相談も秘密が守られます。一人で悩まずに気軽に相談室を利用してください。

### 相談内容

- ・対人関係の悩み
- ・自分自身の性格のこと、心理・精神面の悩み
- ・いじめや嫌がらせを受けている
- ・心身の不調（不眠・不安・憂鬱）
- ・学業の悩み
- ・進路（休学・退学・就職等）のこと
- ・経済的な悩み
- ・課外活動などの悩み など

### 相談時間

- ・月～金曜日 10：00～15：30（予約制）

### 相談方法

- ・休業期間中や年度によって、時間を変更する場合があります。詳しくは受付ないしホームページの「学生相談室カレンダー」で確認してください。
- ・相談を希望する方は、保健センターまたは学生相談室へお越しください。所定の用紙に相談内容を記入しお申し込みください。
- ・下記の電話、E-mailでも申し込みできます。  
電 話：(011) 387-9154（学生相談室直通）  
E-mail：gakuso@hokusho-u.ac.jp
- ・場所はPAL 3階です。

## 3) 特別サポートルーム

特別サポートルームは、主に障がいのある学生が学習するうえで必要な支援のニーズに応じています。支援資源の提供のほか、教員や施設と協働し、学生の皆様に充実した学びの環境を提供できるよう配慮致します。学びの環境に不安を感じる事があれば、いつでもお気軽に特別サポートルームをご利用ください。

## 4. 地域連携センター

地域連携センターは、本学が地域貢献大学として、地域社会との連携を深め、地域と大学が共に発展していけるよう、学部・学科の特色を生かして、全学的に様々な取組を行っています。

### 場 所

1号棟1階

### 受付時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00
- ・土 曜 日 9：00～13：00
- 電 話：(011) 387-3939（直通）
- F A X：(011) 387-3746（直通）
- E-mail：kouzacen@hokusho-u.ac.jp

## 業務内容

### 1) 地域貢献活動

主なものとしては、NPOや自治体等と連携による介護予防事業「地域まるごと元気アッププログラム」や4市（赤平市・芦別市・江別市・三笠市）4町（栗山町・長沼町・南幌町・由仁町）などとの連携による「学生地域定着広域連携事業」などがありますが、それらには、大勢の学生の皆さんが授業の一環として、あるいは、ボランティア活動として参加し、大きな戦力となっています。

その他にも、本学に寄せられる様々なボランティア活動依頼情報を案内し、多くの学生を地域へ派遣して、地域を支えています。震災ボランティア活動の支援も行っています。学生にとって一番身近な地域貢献がボランティア活動です。様々な人との出会いや社会活動の一端に触れる機会となる、大きな学びの場の一つでもありますので、是非積極的に参加しましょう。

センター事務室向かい側に「ボランティア交流室」を設置し、学生に開放しています。ボランティア募集依頼情報が掲示され、フリーに使用できるパソコンも設置されて活動の拠点となっています。

### 2) 生涯学習（講座・検定等）について

地域貢献の一環として、地域住民を対象に、本学の特色を生かした様々な講座を開講し、学びの場を提供していますが、学生の皆さんも受講することができます。

また、学生の皆さんのための社会福祉士・保育士などの国家試験や検定試験対策のための講座も多数開講されて、資格取得を目指す学生の皆さんに積極的に利用されています。

講座のご案内については、前・後学期のオリエンテーションに詳しいリーフレットを配付するとともに、講座の受講申込前に事前説明会を開催しています。

#### ・主な対策講座（なお、申込人数により不開講となる場合があります。）

社会福祉士国家試験、保育士、介護職員初任者研修、秘書検定（2・3級）

ビジネス電話検定（知識B・A級）、カラーコーディネーター検定3級

MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）Word、Excel、PowerPoint

医療事務、調剤薬局事務、メディック・ファースト・エイド など

#### ・主な取扱い検定（なお、申込人数などより個人申込となる場合があります。）

秘書検定、ビジネス電話検定、簿記検定、パターンメイキング技術検定、ブロンズライセンス、ファッションビジネス能力検定、ファッションビジネス販売能力検定 など

## 5. 教職センター

教職センターは、本学の教員養成に対する理念及び全学的・組織的な教職体制を整備することを目的としています。

教育職員免許状の取得にあたっては、必ず実習が必要ですが、教職センターでは、各実習の受入機関との有機的な連携を図り、学内オリエンテーションの実施や個別指導を行い、学生が充実した実習を行えるよう様々なサポートをしています。

教職課程資料閲覧室には全学校種の教科書や学習指導要領等の教職課程関連図書その他、教員採用検査関連の資料が揃っています。教員採用検査については、各教育委員会人事担当者による説明会や対策講座を開催し、毎年多くの学生が教育現場に就いています。卒業後は現職教員を対象として、多様化する教育上の課題を理解し、より実践的な教員になるための研修を行うと共に同窓生としての交流



を図っています。

## 6. 体育管理センター

本学には以下のような体育施設があります。体育施設及び備品の使用に際しては、次の点を遵守してください。

### 主な体育施設

●屋内体育施設：イ 浅井記念館

1F：第1体育館・トレーニング室・研修教室・特別室

2F：ギャラリー・第1多目的演習室・アスレティックトレーナー演習室・トレーニングデッキ

3F：第2多目的演習室

ロ 第2体育館

●屋外体育施設：陸上競技場・野球場・テニスコート・多目的グラウンド・

プッシュボブスレー練習場・パルグラウンド

### 付属施設

・クラブハウス・スキーハウス・部室

### 体育施設の利用方法

- ・体育施設は、体育実技の授業、学校行事のほか、本学体育会所属クラブの定期的な活動における使用を優先しています。
- ・体育施設は、本学学生を対象に開放日を設定しています。体育管理センター掲示板で開放日時を確認し、体育管理センター事務室で利用申請を行います。
  - \* 備品・用具等の使用も同様に手続きすること。
- ・上記以外で、学生及び団体等が体育施設・備品等の使用を希望する場合は、許可が必要です。体育管理センター事務室に、体育施設使用願を提出し、使用許可証の交付を受けてください。
  - \* 原則として、使用願は使用日の1週間前までとする。
  - \* 一部、貸出及び開放を行っていない施設がある。
  - \* 授業・行事・クラブ活動等の事情により、貸出及び開放日時を変更することがある。

### 体育施設利用上の注意

- ・目的に合ったシューズを用意すること。
  - ・貴重品・私物は各自の責任で管理すること（貴重品ボックスを利用すること）。
  - ・水分補給以外の飲食は、ロビー等指定された場所で行うこと。
  - ・ゴミを放置しないこと。
  - ・怪我や緊急の事態が生じたときには、速やかに担当教員又は体育管理センターを通じて保健センターに申し出ること。
- なお、職員が不在のときは、「安全対策マニュアル」に従って対応すること。

- ・器物や備品を破損したり、故障が生じたときには、速やかに体育管理センターに届け出ること。  
なお、故意または過失による破損の場合は、弁済を求めることがある。
- ・使用後は清掃し、用具や備品は元どおりに返却・整頓すること。
- ・各施設ごとの使用心得を遵守すること。

## 7. カレッジホールPAL

### 2階

#### <購買（北翔ショップ）>

学内のコンビニとして、日常必需品の販売と店内に設置されているサービスカウンターにおいて、学生生活に必要な各種サービスの提供をおこなっております。

#### 営業時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・土曜日・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
- ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

#### 取扱商品・サービス

- ・パン・弁当・おにぎり・菓子・カップ麺・アイス・ジュース・お茶などの食料品。
- ・たこ焼き・焼きそば等の催事販売。
- ・ノート・ファイル・ボールペンなどの文房具。
- ・本学園オリジナルグッズの販売。
- ・切手、ハガキ。
- ・教科書・教材・テキスト、スポーツ用品などの紹介や宅配便の取次。
- ・卒業式用貸衣装の展示会。
- ・自動車学校の申込受付、アパート・マンション業者の紹介。
- ・学内設置の各種自動販売機による飲料水やフードの販売。
- ・インターネットをする際の接続やブロードバンドに関する紹介。
- ・FAX・ラミネート加工、レンタカー申込、スキーレンタル、オリジナルTシャツ作成等々。

#### <キャッシュコーナー（北洋銀行ATM）>

北洋銀行の現金自動預入支払機（ATM）により、北洋銀行の他、郵便局や各種金融機関のキャッシュカードによる現金の引き出しが可能です。

#### 取扱時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・土曜日・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
- ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

### <交流スペース“hug”>

学生がくつろげる場所としてソファ席とカウンター席を用意し、教職員から寄贈された図書を配置しています。また、公開ゼミやオープンオフィスアワーなど教職員との交流を図ることができます。

空き時間を利用して自由に来室し、教職員を見かけたら気軽に話しかけてみてください。

## 3階

<保健センター>別掲

<同窓会室>

<和室“翔”>

## 4階

<メインカフェテリア“hashi”>

札幌の街を一望しながらランチを楽しめるスタイリッシュなメインカフェテリア。「おいしい食事」をテーマに、麺類や丼ものはもちろんのこと、週替わり・日替わり定食などメニューは豊富。食べたい料理や予算に合わせて一品料理も自由に選べます。

### 営業時間

- ・月～金曜日 11：00～14：00
- ただし、次の期日は閉鎖します。
- ・土曜日・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
  - ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
  - ・その他臨時に必要な場合

## 5階

<カフェ“Central CAFE”>

NYスタイルのモダンなカフェです。パスタやアジアライスなどテイクアウトが出来ます。ちょっとお腹の空いた時や、授業の合間のコーヒブレイクに。大テーブルはミーティングやグループワークにも最適です。

### 営業時間

- ・月～金曜日 11：00～17：00（※夏季・冬季休業中は、11：00～14：00営業）
- ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・土曜日・日曜日・祝祭日・学園創立記念日（9月5日）
- ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

### <学生ラウンジ>

優しく日の光が差し込む室内にはテーブルやチェアが設置され、落ち着いた雰囲気となっています。

### 利用時間

- ・月～土曜日 9：00～21：00

## 6階

### <オーディトリウム（多目的ホール）>

## 8. 人間福祉学研究科 臨床心理センター

本センターは、大学院人間福祉学研究科臨床心理学専攻における臨床心理学に関する教育研究を効果的に行うことを目的として設置されています。すなわち、大学院における臨床心理学に関する実習や研究を行うことを主たる目的として、こころの問題を抱える外来の来談者に対する心理相談や心理査定などを有料で行う施設です。

本センターは、臨床心理士養成のための機関ですので、相談の担当は臨床心理士資格を持つ教員の指導・監督の下、臨床心理学専攻の大学院生および大学院を修了した研修員が中心となって行いますが、教員が相談を担当する場合があります。センターの管理運営は、大学院人間福祉学研究科臨床心理学専攻所属の教員等によって構成される、臨床心理センター運営委員会によって行われています。

設備には、相談室4室、遊戯療法のためのプレイルーム大小2室、待合室2室、実習室1室などがあります。また、各種心理検査や箱庭療法用具など、様々な来談者に対応できるように整備されています。

相談内容に関する秘密は固く守られますが、相談内容によってはより適切と思われる機関を紹介することがあります。

本センターは原則として学外の方のための相談施設です。学生のみなさんは無料で相談を受けられる、本学学生相談室を利用することができます。

## 9. 北方圏学術情報センター

北方圏学術情報センターの愛称名は「ポルト（PORTO）」です。「ポルト」という名は、ラテン語のportus（ポルトゥス「港」）及びporto（ポルト「運ぶ」）に由来しており、このセンターが北方圏における21世紀の情報集積・発信の拠点となる意欲を込めて付けられました。平成13年度文部科学省の学術フロンティア推進事業の選定に基づき、平成14年5月に竣工した北翔大学付属の教育研究センターです。所在地は札幌市中央区南1条西22丁目で、地下鉄東西線「西18丁目駅」1番出口から徒歩

7分の場所に位置しています。

北方圏学術情報センター「ポルト」は、北方圏住民の生活の質の向上に関する総合的研究を目的として、福祉領域、健康、スポーツ、衣食住、美術・音楽・舞台芸術などの分野における人々の全生涯、全生活領域における豊かさの向上を目指し、本学の多くの教員スタッフが学外の研究者をも交えたプロジェクトチームを編成してさまざまな活動を展開しています。「ポルト」は、生活福祉・生活文化について総合的かつ学際的視点から研究を展開し、北方圏諸国、特に北海道の地域振興の発展に寄与することを目指しています。

「ポルト」は、地上8階、地下1階、総面積8,700㎡の建物で、その中で6階から地下1階までが北方圏学術情報センターとなっています。377名分の可動式客席を設けた1階のポルトホールは映像・音響・照明等の設備が備えられており、各種シンポジウム、コンサート、講演会等に利用されています。

1階と3階の2か所に設けられたギャラリーは美術分野や服飾関係の展示などに利用され、地域社会の人々にも公開されています。4階にはユニバーサルデザインモデルルームがあり、北国の高齢者・障害者の住環境を考えるためのひとつの素材を提供しています。

北方圏学術情報センター「ポルト」は、研究施設のため原則的に学部の授業等には使用できません。しかし、企画の内容に応じて、最もふさわしいと考えられる教員の指導助言を受け、その先生の研究活動の一環として位置づけられる活動であれば使用することができます。また、本学学生が交流の場として1階のアトリウムや3階のラウンジなどの自由空間を利用したり、美術展の鑑賞や館内見学に来館したりすることは歓迎します。団体等で見学される場合は館内行事予定との関係もありますので、あらかじめセンター事務室にお問い合わせください。

（「ポルト」センター事務室 TEL (011) 618-7711）

## 10. 北方圏生涯スポーツ研究センター

愛称名は「スポル」で、ギリシャ語でスポーツを意味します。この施設は、平成16年度文部科学省の学術フロンティア推進事業の選定に基づき、北方圏における総合型地域スポーツクラブ、寒冷地スポーツ推進、競技者育成、体力向上、体験活動、食育推進について総合的・学際的研究を行い、生涯スポーツ文化の創造に貢献することを目的として平成17年3月に竣工した建物です。北海道全域に生涯スポーツを振興するための拠点として本学および学外の研究者が研究活動を進めています。

北方圏生涯スポーツ研究センター「スポル」は、研究施設として建設されたものであり、本学学生は研究員の指導のもとに、プロジェクト研究に関連した諸活動であれば使用することができます。

### 主な施設

- 1 F：多目的ホール、プール、ジャグジー、クライミングウォール、トレーニングジム1、高温トレーニングルーム、人工気象室、第1測定室、第1分析室
- 2 F：ダイビングピット、トレーニングジム2、第2測定室、第2分析室、健康相談室
- 3 F：スポルホール、ジムナスホール、スタッフルーム
- 4 F：映像分析室
- 5 F：ランニングコース
- 6 F：大会議室

